

スペシャル ライブステージ

会場 図書館3F大ホール

図書館・3階大ホールのステージでは様々なジャンルの音楽がホームカミングデーに集う同窓生、葛飾区民等の心を和ませ、そして楽しませた。

杉田二郎・庄野真代スペシャルライブ

時間 13:30~15:00

杉田二郎さん、庄野真代さんの有名ミュージシャン二人を迎えた今年のスペシャルライブは、中高年の同窓にとって、当時を懐かしく思い出され、感慨にふけること、違いなかった。

最初のステージでは、間もなく還暦を迎える庄野真代さんが「飛んでイスタンブール」「モンテカルロで乾杯」などの代表作6曲を熱唱。現在、歌手活動とともに音楽を通じたボランティア活動を行っているが、デビュー当時と変わらない艶やかで張りのある歌声を披露した。

続いて、杉田二郎さんが登場し、【はしだのりひこシューベルト】の「風」、【ジローズ】の「涙は明日に」、代表曲の「戦争を知らない子供たち」「男どうし」「ANAK(息子)」など7曲を孫の話を交えながら、翌月68歳を迎えるとは思えない若々しい歌声を聞かせてくれた。

最後は二人がデュエットで「あのすばらしい愛をもう一度」を満席の客にプレゼント。「いつまでも母校を愛し続けて」とメッセージを伝えていただいた。



様子スペシャルライブ

ステージタイトル：「むらさきの花咲く街で」

時間 11:00~11:45

母校数学科を卒業後、数学とは異なった分野、歌手に進んだ様子さんは、現在、観光大使等でも活躍している。今回のライブで様子さんは神楽坂に縁のある芸術座が100周年を迎えたことから、親しみを込めて芸術座創立100周年を祝い「カチューシャの唄」を1曲目に選び熱唱。その他にも100周年を迎える曲やリズムのある曲目を披露し、その一つ、タンゴが日本に渡来して100年ということから、「赤い靴のタンゴ」、「黒猫のタンゴ」、「恋猫」を続けて熱唱し、さらに葛飾を舞台にした「むらさきの花咲く街で」、日光を舞台にした「古城の舞／恋の神橋」の新曲のキャンペーンなど全11曲で会場を沸かせた。



理声会発表会(理科大混声合唱団OB会)

時間 10:15~10:45

ステージタイトル：「優雅な調べHCD2014」

昨年末の混声合唱団第50回定期演奏会への参加を目的に、同窓の指揮者を迎え、厳しく、楽しく3年前から定期的に練習を重ねてきた理声会がスペシャルステージのスタートを飾った。HCDへの参加は3回目だが、当大ホールでの初演奏ということで出演者30名は大張り切り。新しくステージに購入されたピアノの音と共に、校歌、H.Werner作曲、増田順平編曲「野ばら」など7曲を披露した。

